

主な議案

一般質問

知つとココロクイズ

委員会視察レポート

特集議会を知つとココロ



議員 学校施設がかなり腐食が進んでいるところがあるが、調査・点検と補修はどのよう

教育部長 各学校で月に1度、点検を行い、不具合があるときは教育委員会に連絡し、調査や点検を行い、危険が伴う場所は優先的に処理している。

### 学校施設の補修は迅速に 「調査・点検を行い対応する」 望月 久晴 議員

#### 教育格差解消

議員 貧困の連鎖が社会的に大きな問題にな



腐食している喜沢中学校の防音壁土台部分

議員 喜沢中学校の防音壁の土台部分が腐食しており、早急に補修が必要と思うが。

教育部長 調査してわかっているのですが、対応したい。

奨学金は半額返済に

議員 市の奨学金では学費を賄うことができない。他の奨学金と併用すれば返済額が膨らみ、利用しづらい。授業料に見合った貸付額に増額できないか。

教育部長 限られた予算の中で行っているの

っている。優秀な人材が経済的理由で大学に進学できないければ本人も不幸であり、国や戸田市にとっても大きな損失になる。本市の奨学金の利用状況は年々下がっている。利用しやすいように、平成20年度以前のように半額返済にできないか。

議員 利用者が増え、選考しなければならなくなったため、20年度に全額返済にした。また半額返済にすれば、利用者が増えすぎるので、できない。

議員 市の奨学金では学費を賄うことができない。他の奨学金と併用すれば返済額が膨らみ、利用しづらい。授業料に見合った貸付額に増額できないか。

議員 「オレンジリボン」運動推進期間。全国で児童虐待防止に向けた取り組み



議員 児童虐待の痛みが相次いで発生している。どんな理由があるにせよ、虐待は絶対にしてはならない。「子ども虐待のない社会」を実現するために社会全体で取り組むことが、子どもたちを守ることになる。多くの人に「周知と啓発」が必要である。

### オレンジリボン 「児童虐待防止」に向けた積極的な周知・啓発を 「今後も未然防止に取り組んでいく」 手塚 静枝 議員

議員 「要保護児童対策地域協議会」を設置し、各関係機関と連携し、要保護児童の早期発見、早期対応や適切な支援を実施している。11月の推進期間では、広報掲載、ポスターの掲示、チラシを関係者に配布し周知・啓発を行った。

議員 「オレンジリボン」運動の輪を広げる集中的な広報・啓発を積極的にお願する。

議員 「オレンジリボン」運動の輪を広げる集中的な広報・啓発を積極的にお願する。

議員 「オレンジリボン」運動の輪を広げる集中的な広報・啓発を積極的にお願する。

議員 「オレンジリボン」運動の輪を広げる集中的な広報・啓発を積極的にお願する。



笹目2丁目、根木橋公園(右側)付近の道路冠水

道路冠水や床上浸水の被害が発生する。抜本的な対策を望む。  
上下水道部長 これまでも対策を講じてきたが、来年度は笹目東小学校の校庭地下に、雨水を浸透させ流出を抑制する1千立方メートル程度の雨水浸透施設の設置を予定している。

### 教育支援対策

#### スクールソーシャルワーカーの配置を

「他市町村の取り組みを参考に検討する」  
三輪なお子 議員



議員 近年、いじめや不登校など子供たちを取り巻く環境は年々複雑かつ深刻化している。市内の小中学校において、不登校の現状

議員 近年、いじめや不登校など子供たちを取り巻く環境は年々複雑かつ深刻化している。市内の小中学校において、不登校の現状

さわやか相談室

教育部長 市内全中学校に1人ずつ配置。全校のうち、5校が2週に1回、1校が毎週1回の勤務となっている。そこでは、小学生や小学生の保護者等の相談も可能である。

議員 ①教育相談員のサポート体制は、まだまだ充足しているとは言えない。不登校の原因は家庭や生活環境など、小学生時代から継続されているケースも多いと聞く。小学校の教育相談を充実させる意味からも、問題を早い段階で発見し、福祉関係者につなげていく、スクールソーシャルワーカーを設置してはどうか②人材の確保について伺う。

議員 ①心の面だけだけでなく、福祉の必要性が近年高まっている。今後、スクールソーシャルワーカーの配置について検討を進める②福祉の専門家や学校関係者OBなどの活用も含め、研究していく。



議員 現在、学校に、以前からスクールカウンセラーが配置されているが、配置状況について伺う。

### 高齢者支援 超高齢社会に向けて 「必要に応じて協議し検討する」 石川 清明 議員



議員 人暮らし高齢者の見守りと本人の安心確保を目的として、

議員 シニア世代が定年後も働き続ける動機として「生活費を賄うため」「将来に備えて蓄えを増やすため」など、経済的な理由が多いそうである。高齢者のニーズ

議員 シニア世代が定年後も働き続ける動機として「生活費を賄うため」「将来に備えて蓄えを増やすため」など、経済的な理由が多いそうである。高齢者のニーズ

に就いた職業紹介や仲介、職業相談などを実施している自治体がある。戸田市においても高齢者就労の総合的な窓口を設置してはどうか。

福祉部長 「公益財団法人いきいき埼玉」が主体となり、シルバー派遣事業及び有料職業紹介事業を行うことが可能となっており、近隣のシルバー人材センターとも情報を交換し、今後、実施を視野に検討する。

※スクールソーシャルワーカー…いじめや暴力行為、不登校などを解決するため、教育の分野をはじめ社会福祉に関する専門的な知識や技術を持っている者。